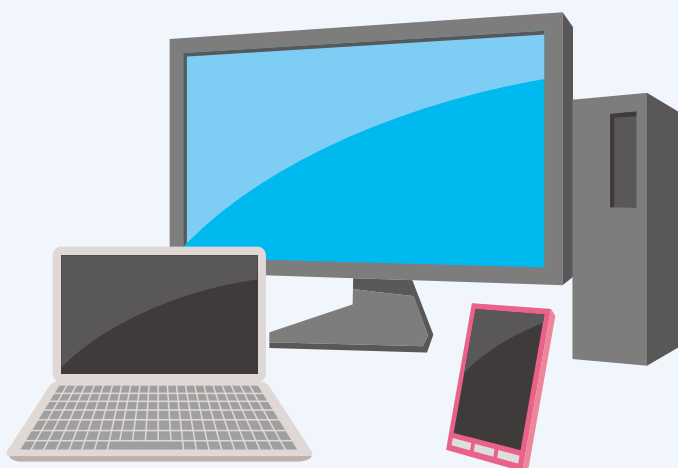


小学校5年生・6年生向け

情報化社会における 表現の自由と知る権利 —情報の受け手・送り手として—



情報化社会における 表現の自由と知る権利 —情報の受け手・送り手として—



第1 概要

▶ 1 新学習指導要領における位置づけ

新学習指導要領の「第2章 各教科」「第2節 社会」「第2 各学年の目標及び内容」〔第5学年〕「2 内容」〔(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする〕「ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり」「イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」

▶ 2 単元設定の趣旨

現代の情報化社会においては、情報技術が著しく発展したことにより、多くの国民が、テレビやインターネットを通じて大量の情報を得ることができるとともに、インターネットを通じて情報を発信することもできる。このような社会においては、よりよい生活と社会をつくるために様々な情報を交換することが重要であることを理解しつつ、情報の受信及び発信の主体として適切な行動をとることができる資質・能力を身に付けることが必要になる。

本単元は、情報化社会における表現の自由や知る権利の意義を、身近な題材を用いて児童に理解させるとともに、表現の自由とプライバシーとの緊張関係を意識させ、他者の権利にも配慮するという情報の送り手として必要な責任ある態度を身に付けさせようとするものである。このような学習を行うことで、民主主義を支える重要な権利である表現の自由や知る権利の意義についての一定の理解を得ておき、中学校段階における更に高度な憲法の学習に進むことが期待される。

なお、本単元では、第3時については二つのバリエーションを用意している。

▶ 3 単元目標

- 1 情報が制限されることによって生じる様々な不都合について考えることを通じて、情報を受け取ることの重要性（知る権利の意義）を理解する。
- 2 自分たちが思ったことを自由に表現できることの重要性（表現の自由の意義）を理解する。
インターネットにおける情報の交換の積極的意義を踏まえつつ、自分自身や他者のプライバシーについての意識を高める。

第1時

情報を自由に 得られるということ

社会科

本時の
ねらい

テレビ、新聞やインターネットといったメディアについての児童の実際の利用状況を踏まえつつ、情報が制限されることから生じる不便や不都合を具体的に考えさせ、情報を自由に得ることができること(知る権利)の意義を理解させようとするもの。その際、架空の王国を設定して、その王国での不便・不都合を考えてみるという方式をとることによって、学習内容を児童にとって理解しやすいものとしている。

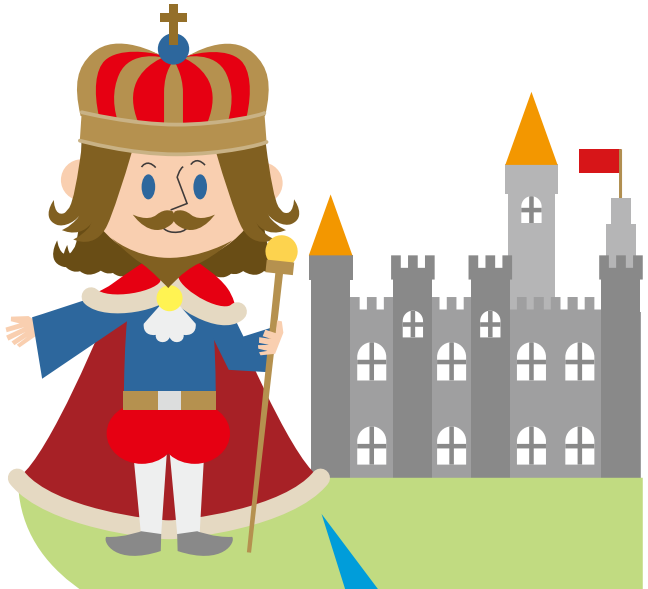
	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
導入	① 情報がない場合の不便さ	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ、新聞、インターネットなどの児童の利用状況について質問し、これらのメディアの利用が生活の中にどれくらいの比重を占めているかについての認識を共有する。 ● テレビ、新聞、インターネットがなくなったら、どうになってしまうか話し合う。 <p>T: 「もしも、テレビや新聞、インターネットがなくなったらどうでしょうか」 C: 「毎日つまらない」 C: 「知りたいことを知ることができなくて困る」 C: 「何があったか、分からない」 C: 「スポーツの結果や天気予報も知ることができない」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報産業や情報化した社会の様子については、別の機会に取り上げるか、この時間の導入において取り上げることが考えられる。 ・具体的に自分の生活に引きつけて考えることができるように助言する。 	
展開	② 情報の制限と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料1の「きめきめ王国」の話をもとに、情報を得ることができる手段が限られていたら、どのような不都合が生じるのかを考える。 <p>T: 「きめきめ王国ではもらえる情報が限られているけれど、どう思いますか」</p> <p>→ 児童に資料1及びワークシート1を配布し、ワークシート1に記入させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「きめきめ王国」で実際に得られる情報は何かを考えさせた上で、感想を述べさせる。 	<p>資料1</p> <p>ワークシート1</p>

知ることができる情報が
限られていたらどうなるだろうか。

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開		<p>C: 「王様の都合のいいことだけ伝えられるのでいやだ」</p> <p>C: 「情報をくれる人が限られていて, 他人からの情報がないから, 何が本当か分からない」</p> <p>C: 「自分たちの知りたいことが自分で知ることができないとなんかだまされてしまうような気がする」</p> <p>C: 「きめきめ王国の人は反対しなかったのかな?」</p> <p>T: 「自分たちの生活が, 「きめきめ王国」のようだったらどうでしょう」</p> <p>C: 「ぜったいいやだ」</p> <p>C: 「自分の知りたいことを知ることができないなんて, とても不便」</p> <p>C: 「好きなアニメ番組やサッカーの試合中継もなくて, 面白くない」</p> <p>C: 「そんなふうになったら, 世の中で何が起きているか分からない」</p> <p>C: 「情報をくれる人の思い通りにみんながコントロールされてしまいそう」</p> <p>C: 「そんなテレビやインターネットなら, 見ない方がまし」</p> <p>T: 「今の生活の中で, テレビ, 新聞, インターネットで自由に情報を受け取ることができることのよさは何でしょう」</p> <p>C: 「いろんなことを知ることができて役に立つ」</p> <p>C: 「いろんな意見を比べて, どれがいいか考えられる」</p> <p>C: 「自分の意見と他の人の意見を比べて, もともと持っていた意見よりももっといい考えを発見できるかも」</p>		
まとめ	③ 知る権利の意義	● いろいろな情報を得ることができることのよさについてまとめる。その際, 情報を得ることができる権利が「知る権利」といわれることを補説する。		



あるところに「きめきめ王国」という国がありました。そこでは、王様によって、いろいろなことが決められています。ある日、王様は、こんなきまりをつくりました。



きめきめ王国の国民よ。私は、これからテレビ、新聞、インターネットについてのきまりを言うぞ。

テレビ

チャンネルは1つだけで、放送しているのは次のものに限る。

- 天気予報
- 国や警察が発表したニュース
※自分で取材したものやインタビューしたもの、撮影したものはだめ。
- スポーツの結果
- 国が許可したマンガなどの子ども番組
※コマーシャルも王様がいいと言ったものだけ。



新聞

1種類だけ。のせていい記事は、テレビと一緒に。



インターネット

王様が許可したものだけをインターネットに流せる。



以上。これらのきまりをしっかりと守るよ。





ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



「きめきめ王国」の国民が、テレビ、新聞、インターネットで
知ることができるのはどんなこと？



もし、今の生活が「きめきめ王国」みたいだったら、
どう思う？



テレビ、新聞、インターネットでいろいろな情報を
自由に得られることのよさって何だろう？

第2時

思ったことを自由に言えるということ

社会科

本時のねらい

家族との会話, 学級会, 電話, 手紙など, 児童が普段から行っている様々な表現(言語)活動について振り返り, 表現活動についての意識を高めた上で, 思ったことを自由に表現できること(表現の自由)の意義を理解させようとするもの。



	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
導入	① 自分たちの表現活動	<ul style="list-style-type: none"> ● どのようなときに, 自分が思っていること, 考えていることをそのまま言ったり, 書いたりできるのか, 考えさせる。 <p>→ 児童にワークシート2を配布し, 記入させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を考えさせる。 	ワークシート2
展開	② 表現活動についての意識	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が思っていること, 考えていることをそのまま言ったり, 書いたりできるのはどのような時かを発表する。 <p>T: 「自分が思っていることや考えていることを, そのまま言ったり書いたりできるのはどういう時でしょうか」</p> <p>→ 児童にワークシート2に記入したことを発表させる。</p> <p>C: 「みんなの前じゃなくて, 友達同士だと言える」 C: 「授業とかでは, 言える時と言えない時がある」 C: 「自分は家族や仲がいい人にしか思ったことを言えない」 C: 「自分の思っていることをみんなに発表するのは恥ずかしいと感じるけど, 限られた範囲で言うなら恥ずかしくない」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手や方法によって, 思ったり考えたりしたことを表現できることは違うことに気付かせる。 	ワークシート2

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展 開	③ 表現する媒体による違い	<p>●直接話して伝えたときと、書いて伝えたときと、どのような違いがあるか話し合う。</p> <p>T: 「直接話して伝えたときと、文字に書いて伝えるときでは、どのような違いがあるのでしょうか」</p> <p>C: 「直接言いにくいことでも書くと伝えられたりする」</p> <p>C: 「話すときより、書く方がどきどきすることが少ないから、思ったことが書ける」</p> <p>C: 「話して伝えるときは身振りや表情を付け加えることができるし、書いて伝えるときは思ったことを形にして伝えることができる」</p> <p>C: 「書いて伝えると、あとあとまで紙が残ることになってしまうので、だれかに見せられたらどうしようと思うこともある」</p>	<p>・ここでの話し合いが、次時以降で扱うインターネットの掲示板における書き込みの問題へと意識がつながるように留意する。</p>	
	④ 表現の自由の意義	<p>T: 「自分の思いや考えを言えるとどんないいことがあるでしょう」</p> <p>C: 「自分のことが分かってもらえる」</p> <p>C: 「みんなで話し合うとよりよいものが見つけられる」</p> <p>C: 「自分の知っていることが人の役に立つ」</p> <p>C: 「自分だけでは考えつかなかったようなことが考えられる」</p> <p>C: 「誰かが間違った情報を流しても、他の人が正してくれる」</p>	<p>・表現の自由が確保されることによって、自分たちの学びや生活が豊かになることを意識できるように話し合いを進める。</p>	
ま と め	⑤ 表現の自由	<p>●思ったことを自由に表現できることのよさについてまとめる。その際、思ったことを自由に言ったり書いたりできることを「表現の自由」ということを補説する。</p>		



みんなが思っていることや考えていることを言えたり、書けたりすると、どのようないいことがあるのだろう。



ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()

どんなときなら、自分が思っていることやおも かんが 考えたことを
そのまま言ったり書いたりできるかな？

ば めん 場面 	だれと？	じ ゆう 自由にできる (○) ば あい 場合によってできる (△) できない (×)
か ぞく 家族との かい わ 会話 		
が っ き ゅ う かい 学級会 		
で ん わ 電話 		
は ん べ つ 班別の は な あ 話し合い 		
て が み 手紙 		
と も だ ち 友達との こ う かん に つ き 交換日記 		
し ゅ く だ い 宿題の に つ き 日記 		
じ ゅ き ょ う 授業 		
が っ き ゅ う し ん ぶん 学級新聞 		

※ ほかにもあるかな？



ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



はな 話して伝えるときと書いて伝えるとき、
ちが ちが
どんな違いがあるのかな？



Large empty rectangular box for writing answers to the first question.



じ ぶん おも 自分が思っていることや考えたことを言ったり、
か 書いたりとできることには、どんないいことがある？



Large empty rectangular box for writing answers to the second question.



第3時

①




インターネットの便利さと
注意事項

社会科

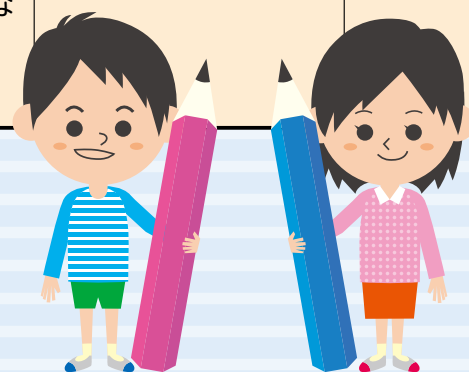
本時の
ねらい

インターネットの掲示板を実際に見てみるなどして、児童であっても情報の発信主体となり得るなど、インターネット特有の便利さがあることを確認した上で、前時までの学習を踏まえて、身近な題材を用いて、インターネットを利用して情報を発信する際に気を付けなければならないことを理解させようとするもの。

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
導 入	① インターネットでの情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ室で実際のインターネットの掲示板を見て、思ったことを発表させる。 <p>T: 「これは、インターネットの掲示板だけど、見て思ったことを発表しましょう」 C: 「書き込んでいるのが誰だか分からない」 C: 「でも、なんかおもしろい」 C: 「自分が他の人になれる」 C: 「名前が出ないから、気軽に書き込むことができる」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が選んだ実際の掲示板を見て、話ができるようにする。 ・インターネット掲示板の匿名性と不特定多数に伝わるという特性を前提としておさえる。 	インターネット 掲示板
展 開	② インターネットの便利さ	<ul style="list-style-type: none"> ●グループごとに自分がインターネットで発信してみたいことを出し合い、インターネットの便利さについて確認する。 <p>T: 「自分がインターネットで発信してみたいことを出し合い、インターネットのいいところについて考えてみましょう」</p> <p>→ 児童にワークシート3を配布し、記入させ、発表させる。</p> <p>C: 「私は、自分の好きな芸能人のことを書きたいなあ」 C: 「ぼくは、自分のクラス自慢を出したい」 C: 「なんか、一つのことについて、みんなの意見が聞けるようにしたいな」</p>		ワーク シート 3

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開	 <p>③ インターネットを利用することについて</p>	<p>C: 「子どもでも言いたいことを自由に書けるから、楽しい」</p> <p>C: 「テレビ会社や新聞社につとめていない人でも、いろんな意見をみんなに知らせることができる」</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #0070c0; color: white; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>インターネットの掲示板に自分が思っていることを何でも書いていいのだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>→ 児童に資料2及びワークシート4を配布し、ワークシート4に記入・発表させる。</p> </div> <p>●自分が掲示板に書くとしたら、自分のことや友達のこと、いいことや悪いこと、どんなことでも書けるか発表させる。</p> <p>T: 「自分の名前を書かなければ、どんなことでも書けるでしょうか」</p> <p>C: 「書ける。自分だってばれなければ平気だと思う」</p> <p>C: 「書けない。自分が書いたことが後でばれるかも知れない」</p> <p>C: 「書けるけど、書かない。書けることは書けるけど、書かれた人の気持ちを考えないと」</p> <p>●自分が思っていることを自由にインターネットで発信していいか、太郎さんと花子さんの話をもとに考える。</p> <p>T: 「太郎さんと花子さんが、思っていることをインターネット掲示板に書き込もうとしているけど、どうでしょうか」</p>	<p>・太郎さんの話については、一方的な情報しか伝わっていない可能性があることをつかませる。</p> <p>・前時の学習を振り返らせながら意見を引き出す。</p>	<div style="text-align: center;">  <p>資料2</p>  <p>ワークシート4</p> </div>

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開		<p>C: 「太郎さんの、友達のことを思っているんだからいいんじゃない?」</p> <p>C: 「でも、もしかしたら、いじめている人にも言い分があるかもよ。悪いのはBさんじゃない誰かかも知れないし」</p> <p>C: 「自分のことを一方的に書かれたらいやだな。反論ができないし…」</p> <p>C: 「書いたものはずっと後まで残ってしまうから、ずっと後になるまでBさんはいやな気持ちを持ち続けることになる」</p> <p>C: 「花子さんの、個人情報だからだめだと思う」</p> <p>C: 「でも、Cさんは有名な芸能人だから、個人情報を少し教えるくらいいいんじゃない?」</p> <p>C: 「Cさんの気持ちになったらやっぱりいやだと思う」</p>		
まとめ	④ 発信者の責任	<p>● インターネットの掲示板等へ書き込みを行うときに気を付けなければいけないことについてまとめる。</p> <p>T: 「インターネット掲示板へ書き込むとき、気を付けなければいけないことはなんですか?」</p> <p>C: 「誰が見ているかわからないし、個人が特定されたり、悪口になったりしないように気を付けたい」</p> <p>C: 「書いたことはずっと後まで残ってしまうから、よく考えて書き込まないといけない」</p>		





太郎さんの書きたいこと

Aさんは、クラスのBさんに仲間はずれにされているみたい。Aさんは、話す人がいなくて悲しそうだな。でも、直接には注意できないなあ。インターネットで見つけた「学校」っていう掲示板に思ったことを書いてみよう。僕たちの通っている〇〇小学校の名前は書くけど、自分の名前を書くのはやめておこうっと。

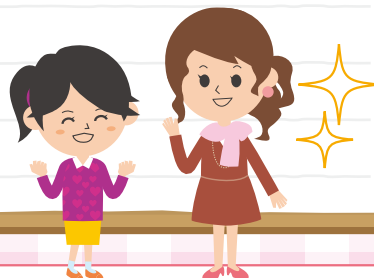
〇〇小学校のBさんはクラスメートのことを仲間はずれにしている。仲間はずれにされた人はいやだと思っているんだ。Bさんはなんてひどいんだろう。早くやめさせたい。



花子さんの書きたいこと

私は、有名な芸能人のCさんと友達なんだ。もっと人気が出るように、いろんなことをファンの人に教えてあげたい。だから、知っていることをファンの人たちが書いているインターネットの掲示板に書こうっと。

- Cさんの好きなこと
- Cさんの住んでいるところ
- Cさんの電話番号
- Cさんがよく行く食べ物屋さん
- Cさんの家族のこと





ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



資料2の太郎さんと花子さんの書きたいことを
読んで、考えてみよう。

1. 太郎さんの書きたいことは、掲示板に書いてもいいと思いますか？



わけ

2. 花子さんの書きたいことは、掲示板に書いてもいいと思いますか？



わけ



年 組 番 名前 ()



さいしょ
最初のワークシート3
じぶん
「自分だったら、こんなことを書きたい!」で
あげたことを、インターネットの掲示板にそのまま
けいじばん
書いてもだいじょうぶかな?



Blank writing area for the first question.



けいじばんかこ
インターネットの掲示板に書き込むときに、
きつ
気を付けなければならないことは何だろう?



Blank writing area for the second question.

第3時
②

インターネットと 私のこと、友達のこと

社会科

本時の
ねらい

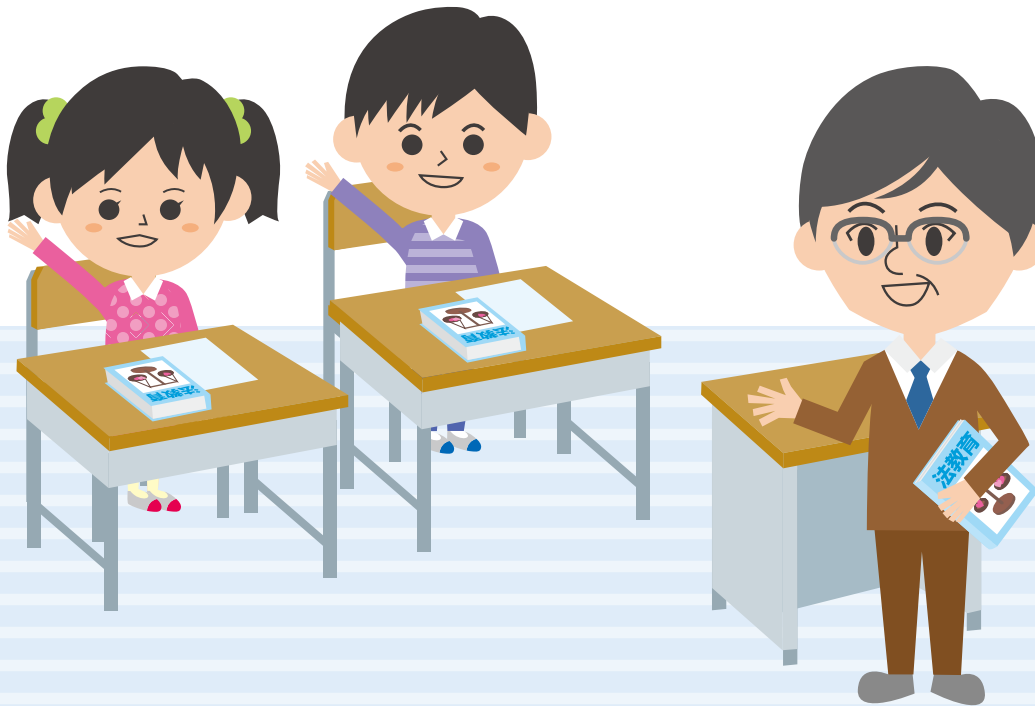
自分に関する情報をどのように扱ってほしいかの感じ方は一人ひとりで異なっていることを踏まえて、インターネットで情報を発信する際には、自分や他者の気持ち（プライバシー）に配慮することが必要であることに気付く。



	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
導入	① インターネットでの情報の発信	<p>● コンピュータ室で実際のインターネットの掲示板を見て、思ったことを発表する。</p> <p>T: 「これは、インターネットの掲示板だけど、見て思ったことを発表しましょう」 C: 「書き込んでいるのが誰だか分からない」 C: 「でも、なんかおもしろい」 C: 「自分が他の人になれる」 C: 「名前が出ないから、気軽に書き込むことができる」</p>	<p>・教師が選んだ実際の掲示板を見て、話ができるようにする。</p> <p>・インターネット掲示板の匿名性と不特定多数に伝わるという特性を前提としておさえる。</p>	インターネット 掲示板
展開	② 自分に関する情報について	<p>● 自分にとって、次のことはどの範囲までなら知られていいかについて考える。</p> <p>T: 「次のことは、どの範囲までなら、誰にまで知られてもいいでしょうか。そしてそのわけはなんですか」</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>● 住所 ● 好きな人 ● 好きな食べ物 ● テストの点数 ● 身長 ● 体重 ● もっているゲームの数や名前 ● 困っていること ● きらいな食べ物</p> <p>① だれにも知られたくない ② 仲のいい子 ③ 家族 ④ クラス全員 ⑤ 誰でも</p> </div>		

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
展開	<p>③ 情報の発信と自分のこと, 友達のこと</p>	<p>→ 児童にワークシート5を配布し, 記入させ, 発表させる。</p> <p>●ワークシート5を見せ合いながら, グループで, それぞれが知られてもいい範囲を決めたわけについて話し合う。</p> <p>T: 「ワークシートを見せ合って, 友達と自分と比べながら, 知られていいと思った範囲やわけについて話し合しましょう」</p> <p>→ 児童にワークシート6の①～②に記入させ, 発表させる。</p> <p>C: 「知られていい範囲は, それぞれ違うんだね」 C: 「知られたくないことは本人しか分からないから, 他の人が一方的に決めつけられない」 C: 「みんな同じだと思っていた」</p> <p>●自分や友達に関する情報を発信するときに気を付けておかなければいけないことについて考えさせる。</p> <p>T: 「自分や友達のことをインターネット掲示板に書き込むときに, 気を付けることを発表してみましょう」</p> <p>→ 児童にワークシート6の③に記入させ, 発表させる。</p> <p>C: 「友達のことをインターネットに書き込むときは, 知らせていい情報が人によって違うので, 気を付けなければいけない」 C: 「今は誰に知られてもいいと思っている自分自身のことだって, インターネットに書き込んでしまうと, 後になって後悔するかもしれないから, 気を付けないといけない」</p>	<p>・人によって感覚が異なることを実感できるように留意する。</p>	<p>ワークシート5</p> <p>ワークシート6</p>

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
展開		<p>C: 「インターネットは誰が見ているかわからないから, 個人についての情報を書き込むのはやめておこうと思う」</p> <p>C: 「情報を発信するということには責任がある」</p>		
まとめ	④ 表現の自由の意義と発信者の責任	<p>● インターネットについて, 自分の考えをまとめる。</p> <p>→ 児童にワークシート6の④に記入させる。</p>	<p>・本時で扱った「自分自身に関することがらで, 他の人によって勝手に話されたり, 知られたりしたくないこと」は, 「プライバシー」と呼ばれることを補説してもよい。</p>	<p>ワークシート6</p>





ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()

あなたは、次のことはどの人までなら知られてもいいですか？
カードに番号とわけを書きましょう。(番号は、2つ以上選べます。)



- ① じぶん自分だけ
- ② なか仲のいい子
- ③ かぞく家族
- ④ ぜんいんクラス全員
- ⑤ おしだれに教えてもいい。

こく 目 項 目	ばん 号 番 号	り ゆう 理 由
 <p>じゅうしょ 住所</p>		
 <p>す ひと 好きな人</p>		
 <p>す 好きな た 物 食べ物</p>		
 <p>しんちよう たいじゆう 身長・体重</p>		
 <p>もっている ゲームの数や なまえ 名前</p>		
 <p>テストの てんすう 点数</p>		
 <p>こま 困っている こと</p>		
 <p>きれいな た 物 食べ物</p>		

メンバー ()

話し合いシート



ともだち くら きづ
① 友達と比べて気付いたこと



ともだち くら おも
② 友達と比べて思ったこと



じぶん ともだち けいじばん か きづ
③ 自分のことや友達のことを、インターネットの掲示板に書くときに気を付けること



おも
④ インターネットについて思ったこと